

工事説明書

業務用
屋内設置形

ハンドドライヤー

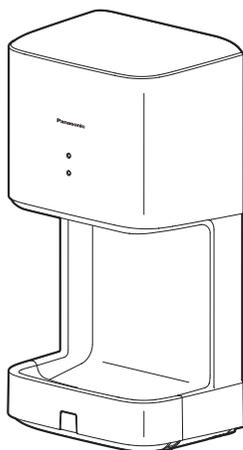
パワードライ（コンパクト形）

<水受けあり>

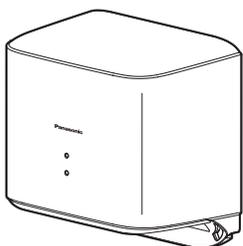
品番 **FJ-T09F3-W**

<水受けなし>

FJ-T09G3-W



FJ-T09F3-W



FJ-T09G3-W

付属品が入っているか、
確認してください！

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの
(別売品) 以外は使用しないでください。

■ハンドドライヤー（付属品）

壁掛けパネル …………… 1個
(本体背面にテープ止めされています)



ねじ (Φ3.8x20mm) …… 4本
(壁掛けパネル固定用)



ねじ (Φ5x25mm) …… 1本
(本体固定用)



取扱説明書 …………… 1冊
(必ずお客様にお渡しください)

工事説明書 …………… 1冊

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」(2～3ページ) は、施工前に必ずお読みください。

- ・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

取扱説明書にもとづいて製品の取り扱いを説明してください。

保証書は必要事項を記入のうえ、取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	…………… 2～3
各部のなまえと寸法 (品番表示位置)	…………… 4
取り付け前の準備	…………… 5
取り付けかた	…………… 6～裏表紙
1.壁掛けパネルを取り付ける	…………… 6
2.本体を取り付ける	…………… 6～7
3.試運転	…………… 裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

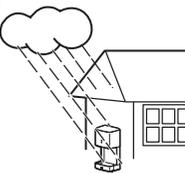
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
 分解禁止	<p>絶対に改造をしない 発火したり、異常動作して、火災や感電の原因になります。</p>
 水場使用禁止	<p>浴室など高温(40℃以上) ・多湿・ぬれる場所には 取り付けない 漏電して、火災や感電の原因になります。</p> 
 禁止	<p>引火性ガス、引火性危険物などの 雰囲気中には取り付けない 爆発や火災の原因になります。</p> <p>屋外には取り付けない 漏電して、火災や感電の原因になります。</p>  <p>粉塵の多い場所や腐食性ガスが存在する場所・塩害地域には取り付けない 火災や感電の原因になります。</p> <p>電源施工時・修理時以外は、フロントケースを開けない 火災や感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、高温部に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど) 傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。 ●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>電源には必ず漏電ブレーカーを取り付ける 故障や漏電のときに感電のおそれがあります。</p> <p>施工は必ずブレーカーを切ってからおこなう 感電の原因になります。</p> <p>配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実におこなう 誤った配線工事は、火災や感電の原因になります。 ●専用配線工事の場合は、必ず電気工事士の資格者がおこなってください。</p> <p>定格15A・交流100Vの専用コンセントを単独で使う 他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。</p>

⚠ 警告

	<p>施工は説明書に従い、確実にこなう 不備な施工は、火災や感電の原因になります。</p>		<p>壁掛けパネルのねじやアンカープラグが壁面や壁内部の金属板に接触しないように取り付ける メタルラス、ワイヤラス、ステンレス板などに接触していると、漏電した場合、火災の原因となります。</p>
	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。</p>		

⚠ 注意

 <p>禁止</p>	<p>ノズル部や本体上部、水受け部分を持って本体を持ち運ばない 落下により、けがをするおそれがあります。</p>			<p>取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する はめないとけがの原因になります。</p>
	<p>本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する 落下により、けがをするおそれがあります。</p>			<p>本体は指定の方法で確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。</p>
	<p>垂直で凹凸のない壁面に取り付ける 落下により、けがの原因になります。</p>			<p>使用時に吹き飛んだ水滴が壁面や床面に付着しても悪影響を受けないところに取り付ける (FJ-T09G3-W) 水の付着により、壁面や床の汚れ、浮き、はがれの原因になります。</p>

お願い

- 次のような場所には取り付けないでください。
故障や動作不良、または寿命が短くなる原因になります。
 - ・ 0℃未満になる場所
 - ・ 40℃以上になる場所
 - ・ 結露する場所
 - ・ 乗り物などの振動のある場所
 - ・ 日光やスポットライトなどの強い光が当たる場所
 - ・ 消毒槽のある部屋、プール、浴室
 手の水がかかるとおそれがあります。
 - ・ 食材や食器などの近く

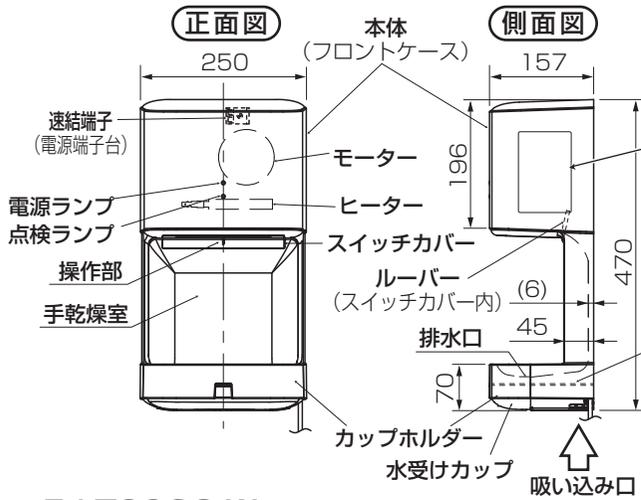
- ・ 油の飛沫や油煙の多い場所
- ・ 直接水がかかる場所
- ・ 腐食性、中性、還元性ガスのある場所
- ・ 屋外
- ・ ホコリの多い場所
- ・ 塩害地域

- ラジオなどをこの製品と同じコンセントに接続したり、近づけたりしないでください。
(ラジオなどに雑音が入ることがあります)
(影響される距離は電波の受信状態により異なります)

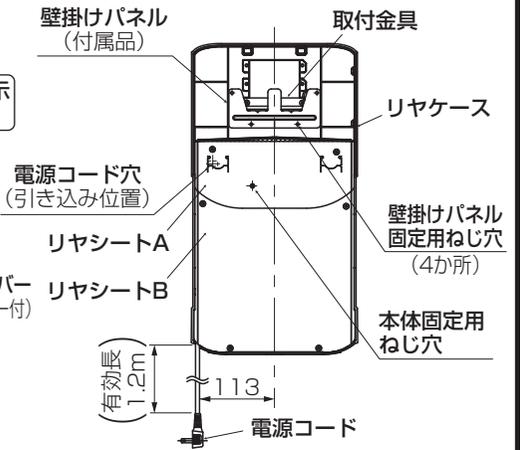
各部のなまえと寸法 (品番表示位置)

FJ-T09F3-W

単位 (mm)
製品質量 : 4.0kg

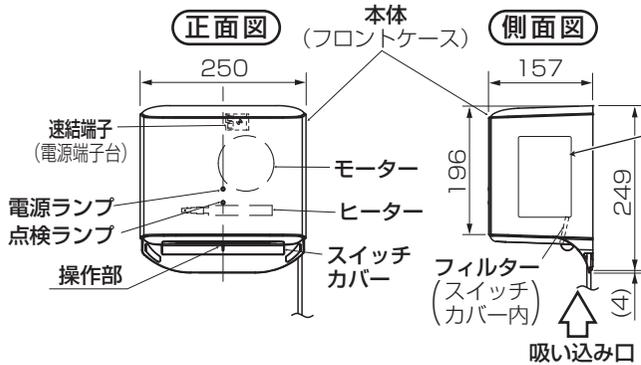


背面図

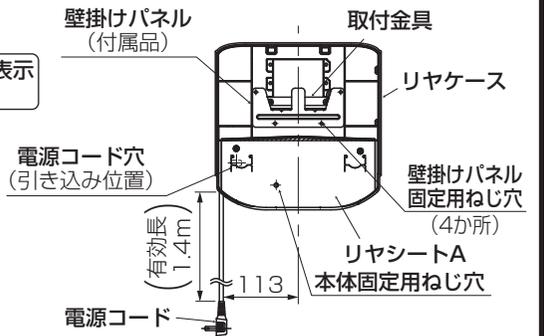


FJ-T09G3-W

単位 (mm)
製品質量 : 3.4kg



背面図



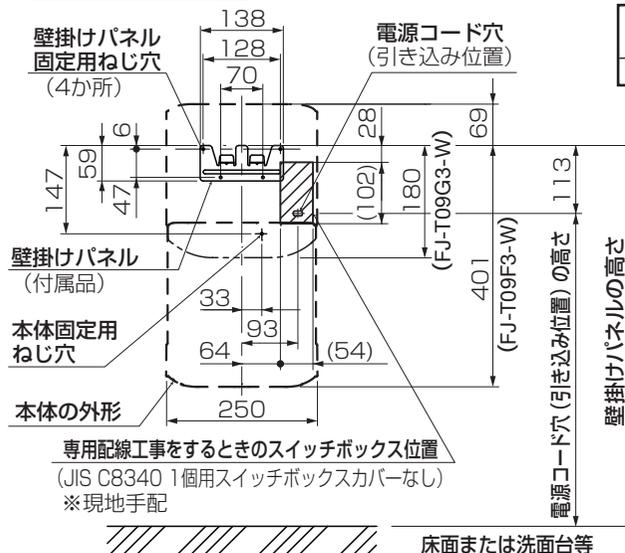
壁掛けパネル 取り付け面詳細図

※正面から見たとき

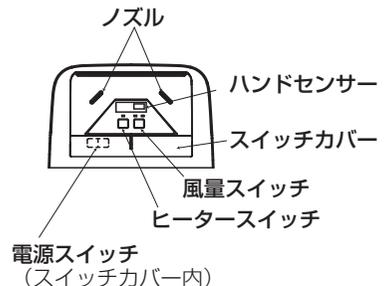
●壁掛けパネルの高さ (上端まで) (推奨値)

床面から	壁掛けパネルの高さ		<専用配線工事をする場合> 電源コード穴(引き込み位置)の高さ
	男性用	1230mm	1117mm
洗面台等の上から	女性用・男女共用	1180mm	1067mm
		460mm	347mm

※洗面台等の高さか800mmを超える場合は、取り付けないでください。(商品位置が高くなり、使いづらくなります)



操作部 ※下方から見たとき



取り付け前の準備

※イラストはFJ-T09F3-Wで説明しています。
FJ-T09G3-Wは水受けカップはありません。

本製品は「コンセントを使う場合」と「専用配線工事をする場合」の施工ができます。

1 取り付け場所を決める

取り付け面

- ・十分強度がある平らで垂直な壁面に取り付ける。
(壁面に凹凸があると、製品の傾き、吸い込みの妨げや、すき間ができることがあります。)
- ・壁材や床材は、耐水性のある材料を使用する。
(使いかたによっては、水が周囲に飛び散ることがあります。設置環境によっては、製品の近くの壁面や鏡に水滴や気流による汚れが付着することがあります。)

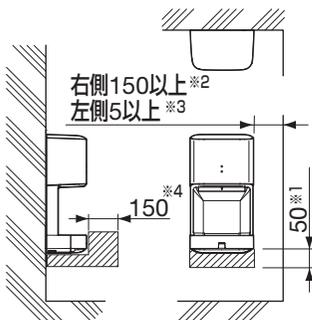
お願い

- ・取り付けは「安全上のご注意」(P.2~3ページ)をお守りのうえ、壁や障害物から十分距離を離して取り付けください。(下図参照)
- ・正面、下方は電源スイッチの操作や、お手入れをするうえで障害になるものがないようにしてください。
- ・人がぶつかりやすい場所やドアなどがあたる場所には取り付けないでください。
- ・コンセントを使う場合、水などのかからない場所にコンセントを設けてください。
(水受けカップにたまった水を捨てるときなどにこぼれた水が、コンセントにかかるおそれがあります)

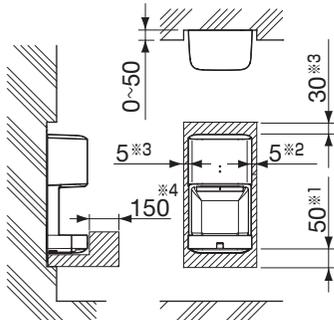
以下の条件を守って、設置してください。

離隔距離 (単位: mm)

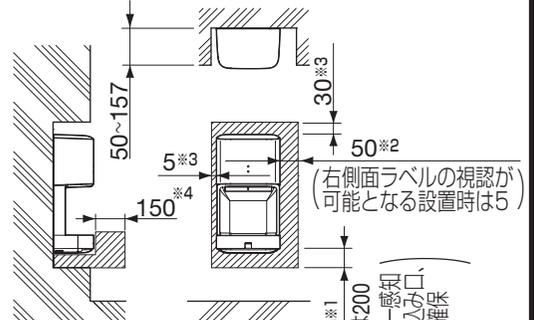
壁取り付けの場合



壁に埋め込む場合A



壁に埋め込む場合B



■には障害物がないように空間を設けてください。

※1 製品の下方…吸い込み口確保のため

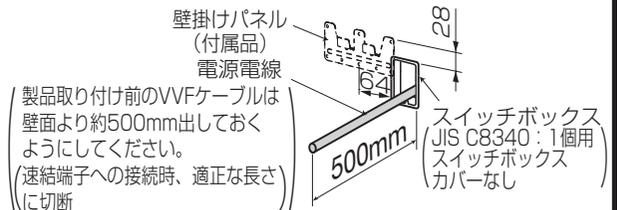
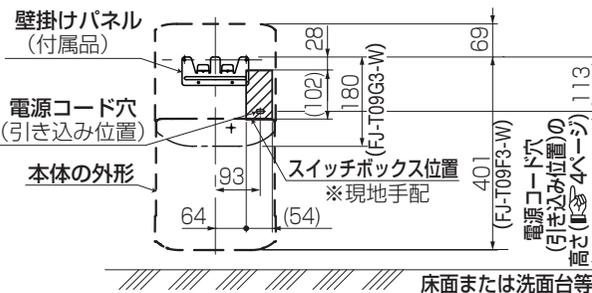
※3 製品の上方および左側方…製品の着脱のため

※2 製品の右側方…右側方ラベルの視認のため

※4 製品の前方…水受けカップ引き出しのため(FJ-T09F3-Wのみ)

2 専用配線工事をする場合

スイッチボックスを埋め込み、電源電線を配線する



お願い

- ・電源電線は2心VVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。

取り付けかた

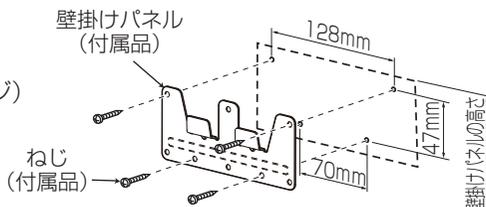
※イラストはFJ-T09F3-Wで説明しています。
FJ-T09G3-Wは水受けカップはありません。

- コンクリート壁以外に取り付ける場合は、補強をおこなったうえで取り付けてください。
- コンクリート壁に取り付ける場合は、アンカープラグ（市販品：M4ねじ用）を使用して取り付けください。（アンカープラグに専用ねじが付属しているときは、そのねじをお使いください）
- リヤシートと水受けカップは取り付けられた状態で使用してください。

1 壁掛けパネルを取り付ける

壁掛けパネルを付属のねじ（ $\phi 3.8 \times 20\text{mm}$ 4本）で取り付ける。

- 壁掛けパネルを取り付ける壁面に合わせ、ねじの取り付け位置の確認をおこなったうえで取り付けください。
壁掛けパネル取り付け面詳細図（ 4ページ）および取り付け前の準備（ 5ページ）をご確認ください。

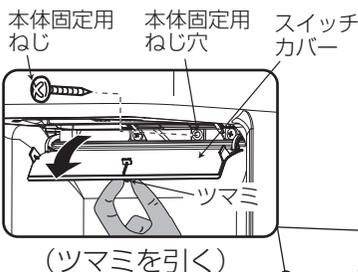


お願い

- 壁掛けパネルは水平に取り付けてください。傾いている場合、ドレン水が確実に排水できません。

2-1 本体を取り付ける コンセントを使う場合

2 スイッチカバーをあげ、本体固定用ねじ（ $\phi 5 \times 25\text{mm}$ ）を取り付ける

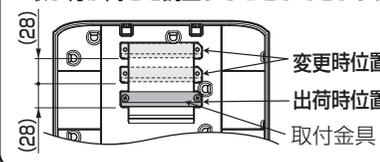


3 スイッチカバーをしめる



1 本体を壁掛けパネルに取り付ける

※取付金具の位置を変えることで、本体の取り付け高さを調整することができます。



4 電源プラグをコンセントに差し込む

※電源プラグは、電源コードが下になるように確実に奥までコンセントに差し込んでください。

お願い

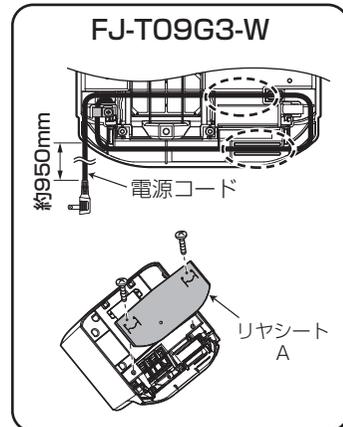
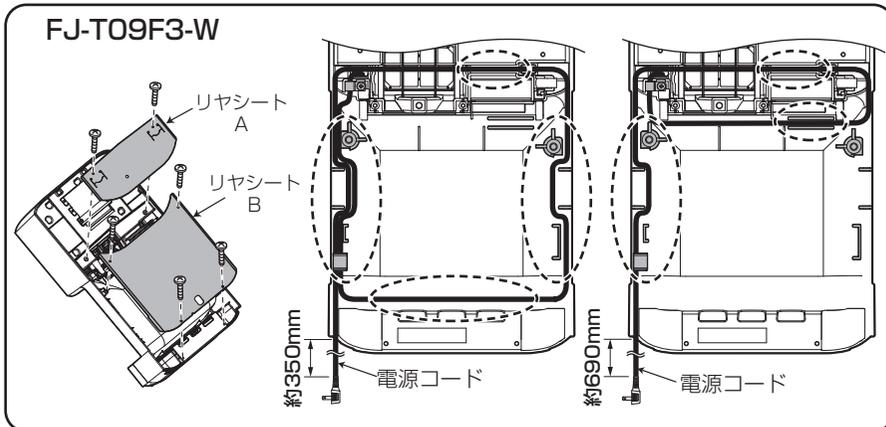
- 電源コードは本体内に押し込まないでください。電源コードに押されて水受けカップが着脱しづらくなる場合があります。

→ 3 試運転へ

電源コードは下図の長さに調整することができます。（本体背面のリヤシート内部）

電源コードの曲がりのくせを伸ばしながら、図のようにコードを1周まわしてください。

- 本体背面のリヤシートをはずし、電源コードを溝部（）に挿入したあと、リヤシートを再度取り付けてください。

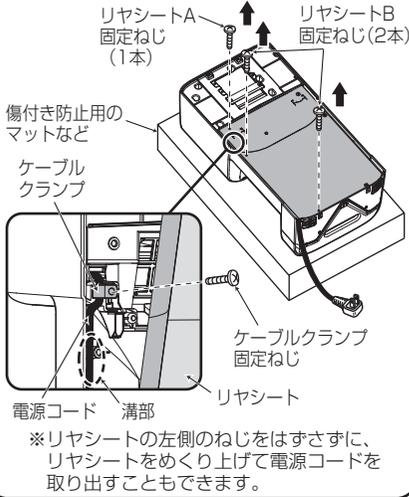


② -2 本体を取り付ける

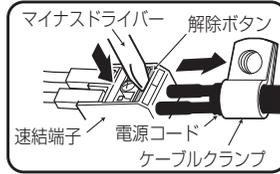
専用配線工事をする場合

1. 電源コードを取りはずす

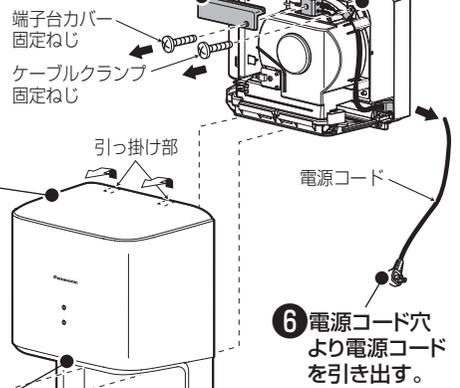
① リヤシートの左側のねじをはずしたあと、ケーブルクランプをはずし、電源コードをフロントケースの溝部からはずす。



⑤ ケーブルクランプをはずし、速結端子から電源コードを抜く

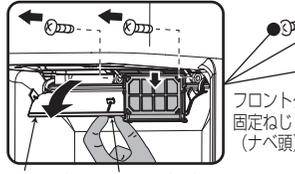


④ 端子台カバーをはずす



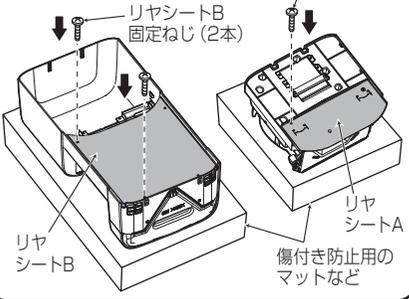
③ フロントケースをはずす
引っ掛け部を浮かせながらはずす。

② スイッチカバーをあげ、フロントケース固定ねじ(φ4×12mm 2本)とルーバー(フィルター)をはずす
※他のねじと混ぜずに保管してください。



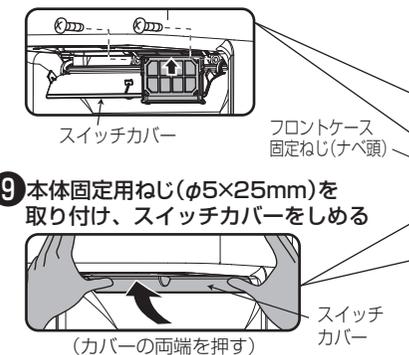
2. 電源電線を取り付ける

① リヤシートをねじで固定する

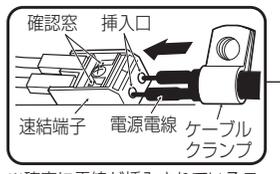


⑦ 引っ掛け部をリヤケースの溝にはめ、フロントケースを取り付ける

⑧ フロントケース固定ねじ(φ4×12mm 2本)とルーバー(フィルター)を取り付ける



⑤ 速結端子に電源電線の心線がとまるまで差し込み、ケーブルクランプで固定する



④ 電源電線を適正な長さに切断し、先端の被覆を皮むきます。

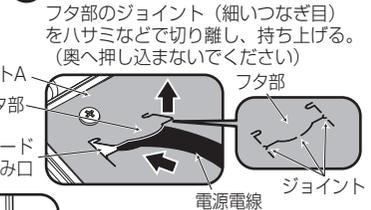


③ 本体を壁掛けパネルに取り付ける

⑥ 端子台カバーを取り付ける



② 電源電線を引き込む



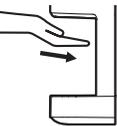
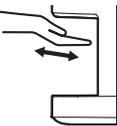
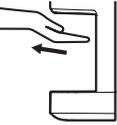
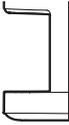
ルーバー (FJ-T09G3-Wはフィルター) この三角穴を手前にして取り付ける (表側)

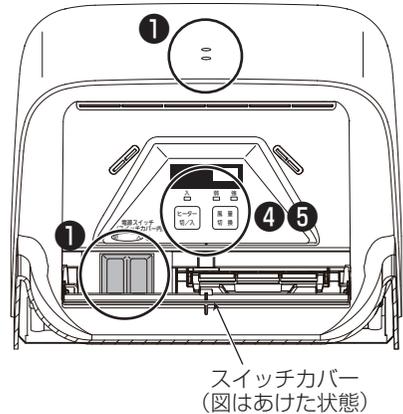
→ 3 試運転へ

取り付けかた (続き)

3 試運転

1. 次の確認をしてください

<p>① 電源スイッチを「入」にしてスイッチカバーをしめる</p>  <p>切 入 確実に奥まで押し込む</p>	<p>電源ランプ点灯</p>  <p>電源ランプ (点灯)</p>
<p>② 手乾燥室に手を入れる</p> 	<p>運 転</p> 
<p>③ 手乾燥室から手を抜く</p> 	<p>停 止</p> 
<p>④ 「強」ランプ点灯中、風量スイッチを3秒以上長押し</p> 	<p>「弱」ランプ点灯(弱運転)</p> 
<p>⑤ ヒーターランプ点灯中、ヒータースイッチを3秒以上長押し</p> 	<p>ヒーターランプ消灯(ヒーター切)</p> 



- ※通常は風量「強」、ヒーター「入」でご使用ください。
- ※温度の低い雾団気中や停止時間の長い場合、ヒーター「入」の運転であっても温風が冷たく感じることがあります。
- ※いたずらや誤感知による連続運転防止として、60秒間連続して使用すると自動的に運転を停止します。続けてご使用になるときは、一度手を抜いてから、再度手を入れてください。
- ※結線図や点検ランプ表示の内容をご確認したい場合は、フロントケース内側(基板カバー側面)のラベルをご覧ください。

2. 試運転終了後

- ①スイッチの設定を風量「強」、ヒーター「入」にする。
- ②電源スイッチを「切」にして、スイッチカバーを閉じる。
- ③電源プラグをコンセントから抜く。または漏電ブレーカーを「切」にする。

お願い

- スイッチカバーと本体の間にすき間がなく、確実にしめたことを確認してください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2014

T09F38510-P0514-0